

広島大学埋蔵文化財調査室

調査研究紀要

第 1 号

2009

表紙デザイン

表紙（表）は鏡西谷遺跡C地区出土の同安窯青磁・皿および横田賢次郎・森田勉（1978）掲載の大宰府跡出土龍泉窯系青磁碗を利用して図案化した。表紙（裏）は鏡西谷遺跡E地区出土の絵画土器（弥生土器）を利用して図案化した。

広島大学埋蔵文化財調査室

調 査 研 究 紀 要

第 1 号

2009

広島大学埋蔵文化財調査室

序 文

埋蔵文化財調査室は広島大学の東広島市への統合移転を契機として設置された組織である。当初、東広島キャンパス移転に伴う埋蔵文化財確認、発掘調査および報告・研究などを主たる業務として発足したが、移転が完了した1997年度以降も新たな開発が行われ、これに伴う業務を継続した。さらに、2004年4月に国立大学が独立行政法人化されたことに契機に、全ての広島大学キャンパスについて開発に伴う埋蔵文化財業務を行うこととなった。この間、統合移転地埋蔵文化財調査委員会から環境保全委員会へと所属が移り、さらに大学法人化後は財務室の所管となったことから、開発に伴う埋蔵文化財の協議体制も大きく変化した。これに伴い、2004年4月の大学法人化以降は、開発に伴う埋蔵文化財の協議を各キャンパスが所在する自治体の教育委員会と協議を行いながら業務を行っている。

ところで、東広島への統合移転に関する埋蔵文化財業務は、2001年度に全ての調査が終了し、2002年度から順次発掘調査報告書5冊を刊行して2007年度に調査・報告に関しては完了した。また、1997年3月からは展示室を設置して資料の一部を公開するとともに、遺跡保存区として残されている16ヶ所について順次整備を進めている。移転に伴う発掘調査は約20年間に及び、約10万点の遺物が出土するとともに、写真、図面などの記録資料も膨大な量となっていることから、これについても順次公開のための整理作業を行っている。このように、移転に関連する業務については、資料の公開、保管・管理に重点が移った状況にあるといえる。一方、大学内における開発は継続的に行われており、これに伴う埋蔵文化財協議は年間40件前後、立会・試掘調査は延べ40日以上と相当量に達している。また、立会・試掘調査に伴って、霞地区で旧陸軍広島兵器支廠関連と考えられる

遺構・遺物やそれ以前の遺物が確認されるなど、貴重な成果も上がりつつある。

これまで、発掘調査成果については最終的に発掘調査報告書として刊行してきたが、報告書刊行には多くの年月を要するため、各年度の事業内容について『発掘調査年報』という形で公開してきた。しかし、上述のごとく、移転に伴って出土した遺物は膨大であり、発掘調査報告書の刊行にあたって研究報告を行ったものの、予算や整理時間の関係から割愛した資料や研究テーマも少なくない。また、最初の報告書を刊行してすでに歳月が経過しており、その後研究が進展した分野も少なくない。さらに、調査室に寄贈・寄託された資料も一定量に達しており、今後、これらについても公開する必要が生じている。以上のような状況を鑑みて、各年度の事業報告とともに、広島大学キャンパス内の遺跡・遺物ならび寄贈・寄託遺物とこれに関連する幅広い遺跡・遺物の研究成果を、『調査研究紀要』という形で今後継続的に公開することとした。

広島大学における開発事業は今後も継続的に実施され、開発事業との調整、埋蔵文化財の調査・報告は引き続き重要な業務となっている。また、保存遺跡を含めた出土資料の公開は社会的責務であると同時に大学が行う社会貢献の重要な一翼を占めるものと思われる。今後、展示スペースの拡充や地域の教育委員会などとの連携も視野に入れながら、これらの歴史遺産を活用して歴史教育教育や地域活性化の一助となる普及活動に力を入れたいと考えている。これまで同様に皆様のご支援とご協力をお願いしたい。

2009（平成 21）年 1 月

広島大学理事（財務担当）

埋蔵文化財調査室長

清水 敏 行

例 言

1. 本書は、研究編、調査編、付編からなる。研究編は、広島大学キャンパス内遺跡および出土遺物、広島大学寄贈・寄託遺物の研究をはじめ、これに関連する幅広い遺跡・遺物の研究を目的としている。調査編は、各年度に行った広島大学キャンパス内の開発に伴う協議事項および立会調査、試掘調査、発掘調査の概要報告である。普遍は、各年度に埋蔵文化財調査室ならびに調査室構成員が行った普及・研究活動の概要と調査室設置要項などを収録した。
2. 研究編では、1981年度、1982年度に発掘調査を実施した鏡地区出土の陶磁器類を中心に取り上げ、安芸国の様相を検討した。
3. 調査編は、2006年度の開発の伴う協議事項と立会調査、試掘調査の概要である。
4. 付編は、2006年度の普及・研究活動の概要を収録した。また、調査室構成員については、本書の出版が2008年度であり、研究編、調査編に関わった構成員の一部が2007年度に退職し、2008年度から新体制で調査研究を行っていることから、2006年度～2008年度の構成員全てを載せている。
5. 2006年度の立会・試掘調査は、広島大学敷地が所在する教育委員会と協議・協力を行い、広島大学施設部の協力得て実施した。調査は、藤野次史、榎林啓介が行った。
6. 研究編、調査編に関わる整理作業は、2006年度が、藤野、榎林、原田倫子、手島智幸、2007年度が、藤野、榎林、手島、2008年度が、藤野、榎林、永田が行った。
7. 研究編に関わる遺物の実測は、榎林、手島、永田が行い、遺物に関する図面は、榎林、永田が浄書した。研究編、調査編に関わる遺物以外の図面は、藤野が作成、浄書し、永田が補助した。写真図版の作成は藤野が行った。
8. 調査編に利用した広島大学各キャンパスの建物配置図等は広島大学施設部から提供された図面を利用して作成した。
9. 本書の執筆は、研究編を、藤野・永田が、そのほかを藤野が行った。
10. 本書の編集は藤野が行った。
11. 本書を作成するにあたり、広島県立歴史博物館鈴木康之氏から多くの有益な教示を得た。また、資料の実見に際して、広島県立歴史博物館、広島市教育委員会、財団法人広島県文化財団埋蔵文化財調査室、財団法人広島市文化科学財団文化課にご配慮いただいた。
12. 研究編で取り上げた鏡西谷遺跡、鏡東谷遺跡の遺物は、広島大学埋蔵文化財調査室が保管している。

目 次

第1部 研究編

広島大学キャンパス内出土の陶磁器類の研究……………	1
---------------------------	---

第2部 調査編

開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要（2006年度）……………	87
---------------------------------	----

付 編

1. 普及・研究活動……………	105
2. 埋蔵文化財調査室の組織……………	111

挿図目次

- 第 1 図 広島大学東広島キャンパス鏡地区の中世遺跡と鏡山城跡
- 第 2 図 鏡西谷遺跡 B 地区および C 地区の中世陶磁器出土状況
- 第 3 図 鏡西谷遺跡 B 地区出土中世陶磁器類実測図
- 第 4 図 鏡西谷遺跡 C 地区出土中世陶磁器類実測図
- 第 5 図 鏡西谷遺跡 D 地区、G 地区出土中世陶磁器類実測図
- 第 6 図 鏡西谷遺跡 D 地区および G・E 地区の中世陶磁器出土状況
- 第 7 図 鏡西谷遺跡 E 地区出土中世陶磁器類実測図
- 第 8 図 鏡東谷遺跡北地区および南地区の中世陶磁器出土状況
- 第 9 図 鏡東谷遺跡北地区出土中世陶磁器類実測図
- 第 10 図 鏡東谷遺跡北地区・南地区出土中世陶磁器類実測図
- 第 11 図 鏡千人塚遺跡出土中世陶磁器類実測図
- 第 12 図 鏡地区出土青磁碗分類図
- 第 13 図 鏡地区出土青磁皿分類図
- 第 14 図 鏡地区出土白磁碗分類図
- 第 15 図 鏡地区出土備前焼播鉢分類図
- 第 16 図 芸北地域における中世遺跡の陶磁器組成化
- 第 17 図 沼田川下流域・竹原地域における中世遺跡の陶磁器組成
- 第 18 図 西条盆地における中世陶磁器組成の変化
- 第 19 図 広島湾周辺における中世陶磁器組成の変化
- 第 20 図 広島大学の校地所在地図
- 第 21 図 2006 年度東広島地区の試掘・立会調査位置図
- 第 22 図 2006 年度霞地区の立会調査位置図
- 第 23 図 保健管理センター基礎および排水管用掘り方および検出遺構位置図
- 第 24 図 翠地区立会調査位置図
- 第 25 図 東雲地区立会調査位置図
- 第 26 図 三原地区試掘調査位置図
- 第 27 図 春日地区立会調査位置図

表目次

- 第1表 西条盆地主要遺跡出土中世陶磁器一覧表
- 第2表 広島湾周辺主要遺跡出土中世陶磁器一覧表
- 第3表 芸北地域主要遺跡出土中世陶磁器一覧表
- 第4表 沼田川下流域・竹原地域主要遺跡出土中世陶磁器一覧表
- 第5表 鏡地区出土青磁一覧表
- 第6表 鏡地区出土白磁一覧表
- 第7表 鏡地区出土陶器一覧表
- 第8表 2006年度（平成18）広島大学における開発に伴う埋蔵文化財協議一覧

写真目次

- 写真1 広島大学鏡地区出土陶磁器（1）
- 写真2 広島大学鏡地区出土陶磁器（2）
- 写真3 広島大学鏡地区出土陶磁器（3）
- 写真4 広島大学鏡地区出土陶磁器（4）
- 写真5 東広島地区カフェテリア建設工事電気配管地区試掘状況
- 写真6 東広島地区カフェテリア建設工事基礎掘り方掘削状況
- 写真7 霞地区大学病院外来診療棟北側庇設置工事地区検出の樹
- 写真8 霞地区保健管理センター建物基礎掘り方南端検出の石垣状遺構
- 写真9 霞地区保健管理センター配水管設置掘り方の堆積状況（北壁）
- 写真10 翠地区講堂東側給水管改修工事（正面ゲート付近）配管掘り方堆積状況（西壁）
- 写真11 翠地区講堂東側給水管改修工事（正面ゲート付近）調査区出土石材（花崗岩）
- 写真12 三原地区小学校耐震工事地区試掘区完掘状況
- 写真13 三原地区中学校耐震工事地区試掘区完掘状況